

# 日本の都市を焼き尽くせ!

都市焼夷空襲はどう計画され、どう実行されたか

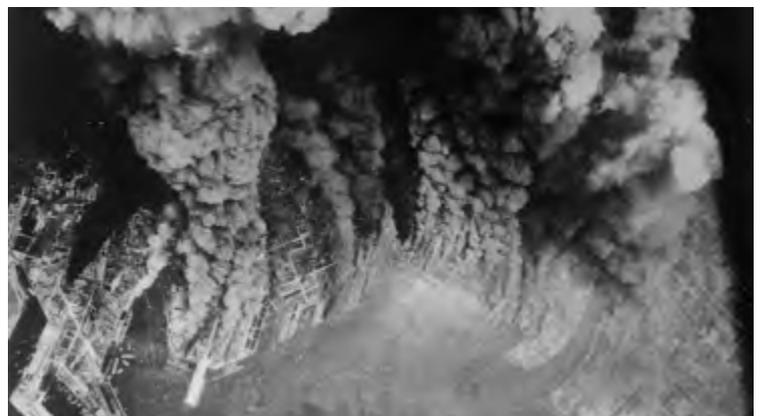


工藤 洋三

幅 250mm × 高さ 240mm 並製本カバー掛け 200 ページ 定価 2800 円 + 消費税 ISBN978-4-9907248-3-2 2015 年 11 月 15 日発行

## CONTENTS 目次

第 1 章	焼夷弾レポート	1
第 2 章	焼夷弾レポートの検証と実験	15
第 3 章	試験的な焼夷空襲	21
第 4 章	焼夷電撃戦	39
第 5 章	4 月の東京・川崎空襲	53
第 6 章	大都市を焼き尽くす	61
第 7 章	中小都市空襲	83
第 8 章	極東航空軍の焼夷空襲	147
第 9 章	戦争最末期の焼夷空襲	161
第 10 章	戦後の調査と報告書	183
	参考資料	193
	あとがき	196
	索引	197



1945 年 6 月 1 日白昼の大阪空襲

焼夷空襲の目的は、火災のもつ巨大な破壊力を、焼夷弾という兵器として活用し、地上の消防能力を上回る数の火災を発生させて、都市に制御不能な大火をつくりだすことだった。都市のどの部分に、どんな焼夷弾を、どれくらいの量、どんな方法で投下すれば良いのか？ 1943 年 10 月に発行された「焼夷弾レポート」は、日本の都市を焼き払うことを目的として、焼夷空襲の理論と方法を示した。

# 日本の都市を焼き尽くせ！

## 都市焼夷空襲はどう計画され、どう実行されたか

### 各地の焼夷区画図をカラー写真で紹介

焼夷弾で都市を攻撃する場合に、市街地のどの部分を攻撃するのか？ 1943年10月に発行された米軍の焼夷弾レポートには、燃えやすさという基準に基づいて都市を区割りした焼夷区画図が掲載されている。東京、横浜、川崎、名古屋、大阪、神戸、広島、呉、八幡、福岡、長崎、佐世保の焼夷区画図をカラーで紹介。

### 本格的な焼夷空襲へ続く3回の試験的な空襲を紹介

日本の都市に対する焼夷空襲は、将来の選択肢の一つとして早い時期に検討されたが、消火に当たる地上の民間人や消防組織の能力を手一杯にして火災を拡大させることができるのか、どの程度の量の焼夷弾を投下すれば目的とする大火を発生させることができるのかが明らかでなく、試験的な焼夷空襲を行うことが提案された。B-29による試験空襲は1945年1月3日の名古屋空襲から始まり、2月4日の神戸空襲、2月25日の東京空襲と続いた。

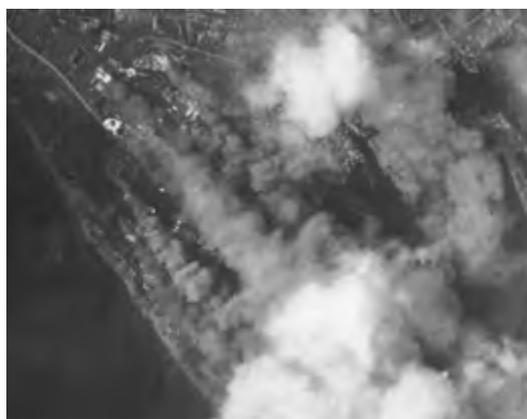
### B-29による日本本土に対する焼夷空襲を網羅

3回の試験空襲を経て、3月9-10日には東京に対する夜間の本格的な焼夷空襲を行い、続けて、名古屋、大阪、神戸の焼夷区画1号を焼き払った。6月15日までに、主要な大都市を焼き尽くし、6月17日からは中小都市空襲が始まる。焼夷弾レポートに示された焼夷空襲の理論にしたがって、試行錯誤を繰り返しながら日本の都市を焼き払っていく過程を、空襲を受けた日本本土のすべての都市を紹介しながら解説。



名古屋の焼夷区画図

中央上寄りの色の濃い部分が名古屋の焼夷区画1号。



神戸に対する2月4日の試験的な焼夷空襲



B-29の機内に収まるM47A2焼夷弾

M69焼夷弾と同様、日本本土空襲で重要な役割を果たしたM47A2の役割を紹介。



戦略爆撃調査団による戦後の調査

消防組織は焼夷空襲とどう闘ったか？



もう一つの焼夷空襲—極東航空軍による九州の都市に対する空襲  
戦争末期、沖縄に基地をおく極東航空軍による、補助タンク焼夷弾などを使った焼夷空襲を紹介。写真は8月12日の阿久根空襲。

### お申し込み方法

郵便振替用紙に、本のタイトル、住所、氏名、電話番号を記入してご送金(2800円+消費税)ください。通常1週間以内にお届けいたします。

郵便振替 01510-1-7343 加入者名称 工藤洋三

連絡先 〒745-0121 周南市須々万奥 286-3

FAX 0834-88-2776 E-mail: ykudo@bronze.ocn.ne.jp

この書籍は、以下の場所でも取り扱っています。

マツノ書店 〒745-0032 山口県周南市銀座 2-13

TEL 0834-21-2195 <http://www.matuno.com/>

500枚を超える写真と図表で日本本土に対する焼夷空襲を解説